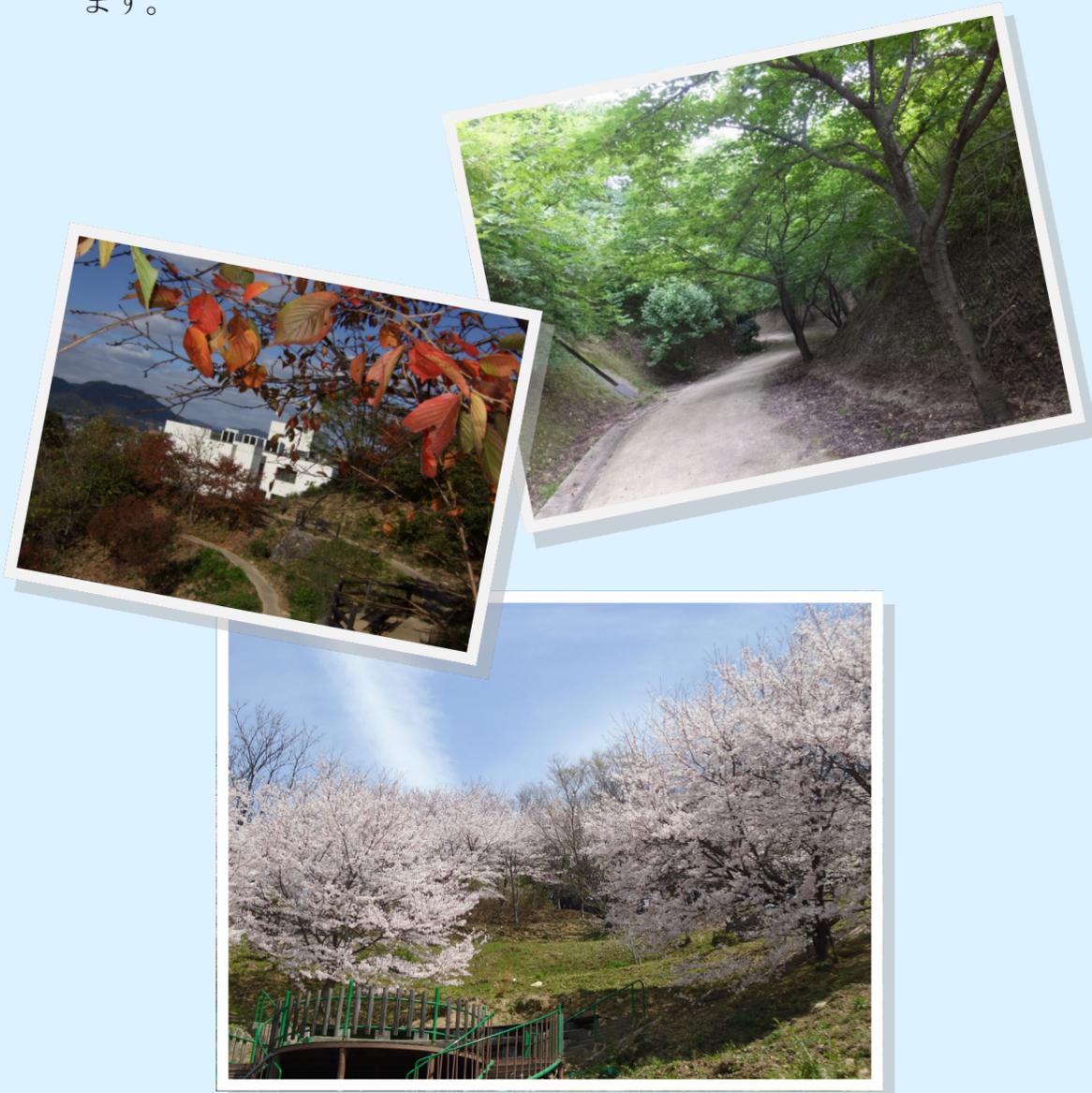


令和4年度教育センターの取組方針

広島市教育センターでは、本市の「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえ、意図的・計画的に資質能力の向上を図ることができるよう、教員研修計画を作成し実施することで、学校の教育力を高める人材を育成します。

また、引き続き、研修の対象や内容を焦点化して研修を実施します。



我が国では、超スマート社会（Society5.0）の実現に向けて人工知能（AI）やビッグデータの活用などの技術革新が急速に進んでいます。将来の予測が困難な時代の中で、自らの生涯を生き抜くための資質・能力を子ども達に育成する教育が求められています。

GIGAスクール構想の実現や小学校での教科担任制など、教育をめぐる状況が大きく変化する中、中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会から、「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて 審議まとめ」が示されました。「審議まとめ」では、「教師が、時代の変化に対応して求められる資質能力を身に付けるために、（中略）常に最新の知識技能を学び続けていくことがより必要となってきた」と述べられています。

また、令和3年3月に改定された広島市教育大綱でも、「ICTを活用した子どもの学習進度や学習到達度に応じた指導等により、個別最適な学びを推進する」と述べられており、「誰一人取り残さない『豊かで深い学び』による広島らしい教育を実現する」ために、「絶えず研究と修養に努めること」が改めて求められています。

教育センターでは、こうした園・学校を取り巻く状況を踏まえながら「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づき、計画的に研修を実施していきます。特に三つの柱として、若手教員、推進リーダー、管理職の育成に継続して取り組むとともに、経験年次や職務に応じて求められる力を身に付けることができるよう、「子どもの理解」「授業づくり」「マネジメント力」の三つの内容に力点を置いて実施します。

また、教育研究や情報拠点整備の面においても、センターならではの視点で、広島市の特色ある教育活動の推進に寄与するとともに、新たな教育を創造するための教育機関としての役割を担い、着実に取組を推進していきます。本センターの取組が広島市の子どもたちにつながっていることを常に意識し、歩み続けていきたいと考えます。本年度も積極的に教育センターをご活用ください。

所長 松浦 幸雄